

各 位

2021年10月6日

会 社 名 株式会社イオンファンタジー
代表者名 代表取締役社長 藤原 徳也
(コード番号 4343 東証第一部)
問合せ先 常務取締役 管理統括 兼 経本部長
兼 リスクマネジメント担当 井関 義徳
(電話 043-212-6203)
当社の親会社 イオン株式会社
代表執行役社長 吉田 昭夫
(コード番号 8267 東証第一部)

連結業績予想及び個別業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

2021年4月9日に公表いたしました2022年2月期の連結業績予想及び個別業績予想並びに配当予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	70,000	1,400	630	△650	△32円90銭
今回修正予想(B)	60,000	△2,520	△3,000	△4,150	△209円99銭
増減額(B-A)	△10,000	△3,920	△3,630	△3,500	
増減率(%)	△14.3%	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績 (2021年2月期)	46,116	△7,429	△7,719	△9,277	△469円51銭

(2) 2022年2月期の個別業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	57,200		1,600	△400	△20円24銭
今回修正予想(B)	50,500		△950	△3,150	△159円39銭
増減額(B-A)	△6,700		△2,550	△2,600	
増減率(%)	△11.7%		—	—	
(ご参考)前年同期実績 (2021年2月期)	38,227	△6,079	△5,958	△8,794	△445円08銭

(3) 修正の理由

2022年2月期は新型コロナウイルス感染症デルタ株の影響による感染拡大により当初計画より売上の回復が遅れております。国内は政府による緊急事態宣言の発出に伴う各自治体の要請対応により生じた一部地域店舗の臨時休業や時短営業の影響を受けました。特に夏休み期間の緊急事態宣言による行動変容が起きたことによる影響が大きく、第2四半期連結累計期間の売上高昨年比は175.0%、売上高一昨年比は75.4%となりました。中国におきましては6月まで順調に売上を確保しておりましたが、8月に一部地域のクラスター発生の影響で店舗休業が発生したことにより上半期の最大商戦に影響を与えました。中国事業における第2四半期連結累計期間の売上高昨年比は159.1%、売上高一昨年比は87.9%となりました。

国内では店舗の売上回復は苦戦いたしました。オンラインクレーン事業は売上高昨年比178%と好調で、またカプセルトイ専門店「TOYS SPOT PALO」は8月末現在74か所まで拡大しカプセルトイ部門は売上高昨年比530%と改善いたしました。

下半期に入り中国事業の売上高は再び回復基調となり、国内においてはワクチン接種率が高まることによる行動規制緩和及び経済の活性化が見込まれており、直近も緊急事態宣言の解除を受け売上也改善してきております。

国内は11月以降の売上回復を見込み下半期の売上高一昨年比は94.3%、中国事業は9月より売上高は回復基調により売上高一昨年比は145.3%（2020年1月・2月は新型コロナウイルス感染症の影響あり）。アセアンにおいては回復に不透明感があり売上高一昨年比は19.8%で見込んでおります。

国内・中国事業において引き続き日々の感染防止策の徹底を継続し、下半期は積極的な売上確保を図ってまいります。また投資におきましては、効果の見込めるIT投資やオンライン事業、カプセルトイ専門店等に絞り、コスト対策を全社的に実行し利益改善を図り、下半期の連結営業利益の黒字化を目指してまいります。

以上の結果、当期の連結業績及び個別業績は、売上高、営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益（当期純利益）が各々前回予想を下回る見込みとなりました。

なお上記見通しは今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況により変動する可能性があります。

※上記記載の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 配当予想について

(1) 2022年2月期 配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	15.00	30.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	20.00
当期実績	—	15.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年2月期)	—	15.00	—	15.00	30.00

(2) 修正の理由

当社は、安定的利益還元を経営の最重要目標のひとつとして位置づけており、内部留保の充実と財務体質の強化および、業績、配当性向等を総合的に勘案して、長期的、安定的な利益還元を基本方針としております。新型コロナウイルス感染症の影響による損益動向や、今後の財務リスクの備え等を総合的に勘案した結果、中間配当につきましては、本日の取締役会において1株当たり15円とすることを決議いたしました。期末配当予想につきましては1株当たり5円といたしました。

以 上